

このたびは、給水栓付洗濯機防水パンをお求めいただきまして、まことにありがとうございました。施工前・使用前に必ずお読み下さい。お客様に、使用上の注意と日ごろのお手入れをよく説明した後、必ずこの取扱施工説明書を保管いただくように依頼して下さい。

### 1. 安全上のご注意

施工・使用前に、この『安全上のご注意』をよくお読みのうえ、正しく施工・使用して下さい。

ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守って下さい。  
・施工完了後、正常に作動することを確認して下さい。

●お守りいただく内容を次の絵表示で区分し、説明しています。

	この記号は、必ず実行していただく『強制』内容です。
	この記号は、してはいけない『禁止』内容です。
	この記号は、気を付けていただきたい『注意喚起』内容です。

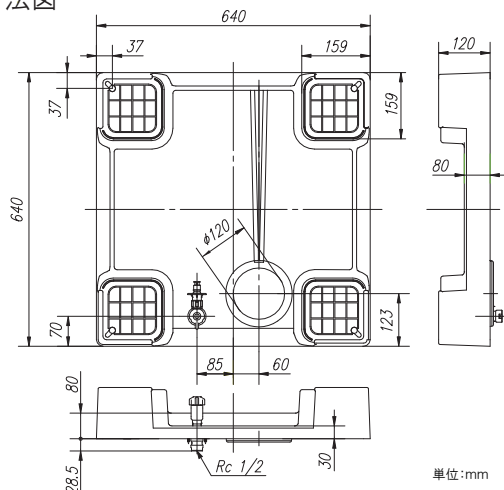
#### ●工事店様へ

- 工事が完了するまで養生を確実に行って下さい。
- 給水配管とバルブ及び排水管と排水トラップの取付けは手順に従って確実に行って下さい。取付けに不備があると漏水の原因となります。
- バルブ、洗濯機用防水パンは施工するまでは必ず梱包材に入れて保管して下さい。
- 洗濯機用防水パンの据付、又は位置を変えたり交換されるときは、必ず専門の工事店にご依頼下さい。取付けに不備があると漏水の原因となります。
- 取付けは取扱施工説明書に従って確実に行って下さい。取付けに不備があると漏水の原因となります。
- 仕上げ床は、デコボコのない平坦な床、たわみのない床となるように仕上げして下さい。
- 高温(50℃以上)になることが予想される場所には施工しないで下さい。製品の破損や変形により漏水の原因となります。
- 洗濯機用防水パンの上に仕上げ壁を立ち上げないで下さい。
- 必要以外の箇所へのシーリング材、潤滑剤等の塗布はしないで下さい。
- 火気(タバコ・チランプ等)を近づけないで下さい。
- バルブ、洗濯機用防水パンおよび排水トラップに強い衝撃を与えたり、無理な荷重を加えないで下さい。製品の破損や変形により漏水の原因となります。
- バルブ、洗濯機用防水パンや排水トラップに熱湯やシンナー等の溶剤、塗料、薬品などを流したり、付着させたりしないで下さい。製品の破損や変形する恐れがあり、漏水の原因となります。
- 洗濯機用防水パン内に脚立などを立てないで下さい。
- エアコンなどの配管を洗濯機用防水パンに引き込まないで下さい。エアコン用の洗剤が流れた際に製品の破損や変形する恐れがあり、漏水の原因となります。

#### ●使用上の注意

- 排水トラップのお掃除を定期的に行ってください。排水トラップ内のゴミ、異物などは定期的(年2~3回)に取り除いて下さい。
- 洗濯機用給水ホースは必ず日本電気工業会(JEM1206)の規格製品をお使い下さい。規格外の製品を使用すると漏水の原因となります。
- 洗濯機用給水ホースを接続する際は必ずバルブのハンドルを閉じ、緊急止水弁を指で軽く押し、中に入り込むことを確認してから接続して下さい。
- 洗濯機を使用しない時は必ずバルブのハンドルを閉じて下さい。
- 洗濯機用給水ホースを接続する際は正しく給水ホースを吐水口に直接挿入して下さい。強引な挿入や他の部材を使用した接続は吐水口が破損し漏水の原因となります。
- 洗濯機の脚が細く点荷重になる場合は、洗濯機の脚と洗濯機用防水パンの間に板またはゴム板を敷いて下さい。
- 洗濯機用防水パンのサイズと排水位置を確認後、洗濯機を購入・設置して下さい。
- 洗濯機設置の際は洗濯機の排水ホースを洗濯機防水パン内に納めて下さい。洗濯機用防水パンから排水ホースがはみ出してつまずいたり、排水ホースが外れて漏水の原因となります。
- 洗濯機の排水ホースは、排水トラップのエルボに差し込み、排水トラップに付属のホースバンドで確実に締付けて下さい。取付けに不備があると排水ホースが外れて排水の汚れがあらわれて漏水の原因となります。
- 洗濯機用防水パンの据付又は位置を変えたり交換されるときは、必ず専門の工事店にご依頼下さい。取付けに不備があると漏水の原因となります。
- 火気(タバコ・チランプ等)を近づけないで下さい。
- 製品用途以外には、使用しないで下さい。
- バルブ、洗濯機用防水パンや排水トラップに熱湯やシンナー等の溶剤、塗料、薬品などを流したり、付着させたりしないで下さい。製品の破損や変形する恐れがあり、漏水の原因となります。
- 洗濯機用給水ホースを無理に引っ張らないで下さい。ストップカバーが破損し漏水の原因となります。
- 洗濯機用防水パンへの直接の排水はしないで下さい。
- 洗濯機用防水パン及び排水トラップに強い衝撃を与えたり無理な荷重を加えないで下さい。製品の破損や変形により漏水の原因となります。
- エアコンなどの配管を洗濯機用防水パンに引き込まないで下さい。エアコン用の洗剤が流れた際に製品の破損や変形する恐れがあり、漏水の原因となります。

### 2. 寸法図



### 3. 製品同梱明細

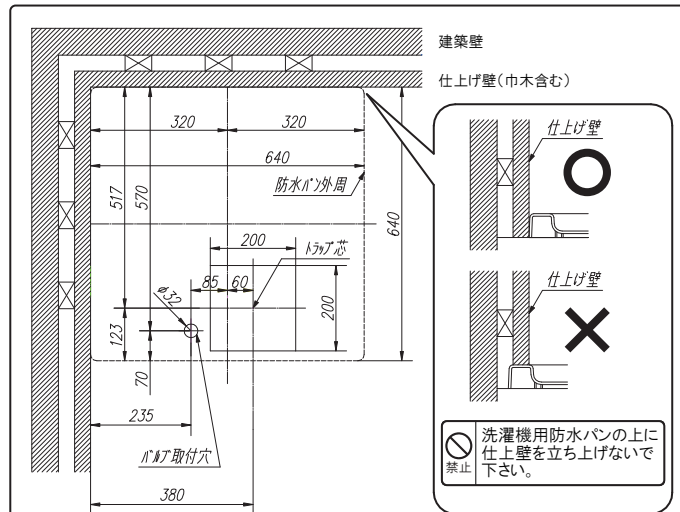
品名	洗濯機用バルブ	洗濯機用防水パン	ユニット取出し金具	ストップカバー
	洗濯機用給水ホース(2m)	固定ビス(4本)	ビスキャップ(4個)	洗濯機防水パン・排水トラップ施工仕様書
	シールテープ	注意書	取扱施工説明書	

### 4. 取付けの前に

\*数秒間水を流し、配管内のゴミなどを洗い流してから、止水栓または元栓を閉めて取付け作業を行って下さい。

#### ●バルブと排水トラップの取付穴加工および配管

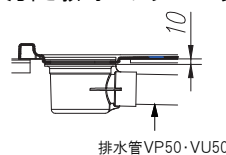
- ①洗濯機用防水パンの位置を決定し下図寸法を参考にバルブ取付穴及び排水トラップ取付穴の穴あけを行って下さい。
- ②横引き排水トラップ又は縦引き排水トラップがトラップ取付芯に来るように所定の位置に排水管を配管しておきます。
- ③同様に給水配管もバルブ取付穴付近まで配管しておきます。
- ④仕上げ床を貼って下さい。



※1寸法はご使用の排水トラップの説明書等をご確認下さい。

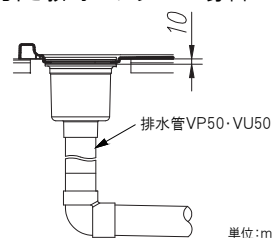
単位:mm

#### 横引き排水トラップの場合



単位:mm

#### 縦引き排水トラップの場合



単位:mm

**強制** バルブ取付穴の位置で洗濯機用防水パンの取付位置が決まりますので、正確に穴あけを行って下さい。

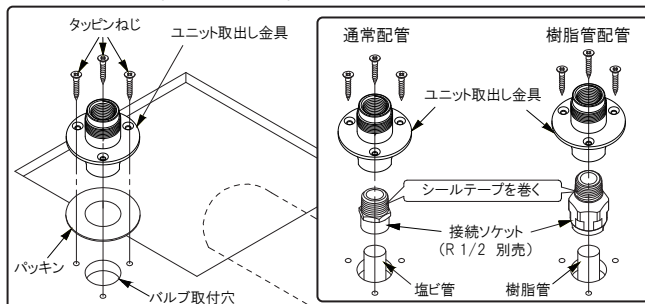
**強制** 排水管の長さはご使用の排水トラップの説明書等を確認の上確実に行って下さい。

**強制** 排水管接続はJIS管VP/VU50(呼び50)又は相当品をご使用下さい。

**強制** 仕上げ床はデコボコのない平坦な床・たわみのない床となるように仕上げして下さい。

### 5. 取付方法

#### 5-1. ユニット取出し工具を取付けます。

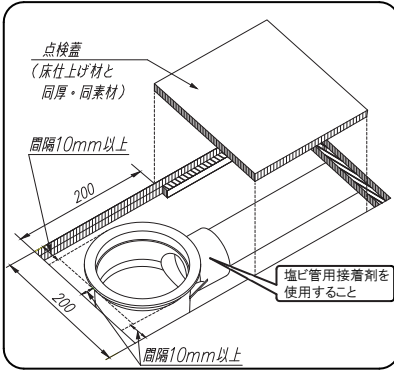


- ①仕上げ床のバルブ取付穴にユニット取出し金具を固定できるように、給水配管を接続します。(接続ソケットが黄銅・青銅製の場合の適正締付トルク 25~35N・m)
- ②ユニット取出し金具をタップねじで床に固定します。

**強制** バルブ取付穴の位置で洗濯機用防水パンの取付位置が決まりますので、正確に穴あけを行って下さい。

## 5. 取付方法(つづき)

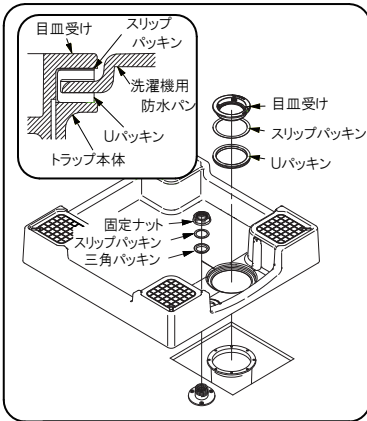
### 5-2. 排水トラップを取付けます。



- ①トラップの位置を確認し、トラップ用開口部を設けます。200×200以外の部分は蓋をして補強して下さい。点検蓋は床仕上げ剤と同厚・同素材を使用して下さい。
- ②トラップと開口部縁が干渉しないように10mm以上の間隔を設けて下さい。※詳細は排水トラップの説明書をご確認ください。

⊘ 接着剤は排水管接続部以外の場所には塗布しないで下さい。

### 5-3. 洗濯機防水パンを取付けます。



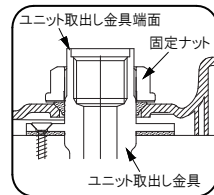
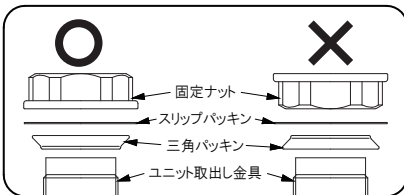
- ①洗濯機用防水パンをユニット取出し金具と排水トラップ本体に合わせて位置決めします。
- ②洗濯機用防水パンにUパッキンを取付け、その上にスリップパッキンを置き、目皿受けを専用工具で締付けし固定します。
- ③洗濯機用防水パンから突出させたユニット取出し金具に三角パッキン、スリップパッキンを取付け固定ナットを「モンキー」などで締付け固定します。

⊘ 目皿受けを締め付ける時、ネジ部に潤滑材を塗布しないで下さい。

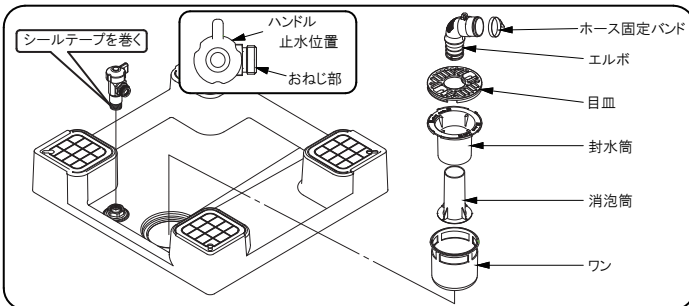
⚠ 専用工具は排水トラップの説明書等をご確認ください。

⚠ 三角パッキン及び固定ナットの組付けは左下図の向きで組み付けて下さい。

⚠ 下図のようにユニット取出し金具端面が固定ナットから突出するように締付けて下さい。



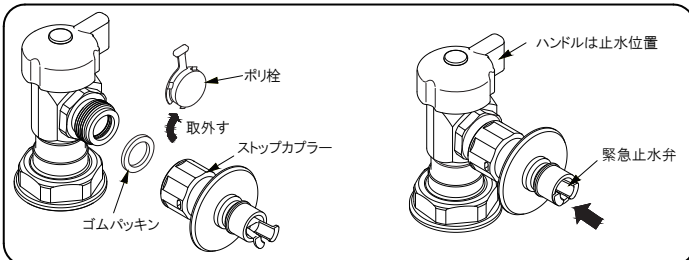
### 5-4. バルブと排水トラップを取付けます。



- ①バルブの取付ネジ部にシールテープを巻き、バルブを取付けます。
- ②図のように排水トラップ内部の部品を取付けます。
- ③ハンドルを止水位置にして、バルブ接続部までの漏水検査をします。

⚠ 上図は代表的な排水トラップですので施工の際は排水トラップ付属の説明書等をご確認ください。

### 5-5. バルブにストップカプラーを取付けます。



- ①ポリ栓を取外し、ストップカプラーをバルブに取付けて下さい。ストップカプラーにゴムパッキンがあることを確認して、工具で回し固定して下さい。
- ②施工後、ハンドルを止水位置にして緊急止水弁を押し、圧力を抜いて下さい。

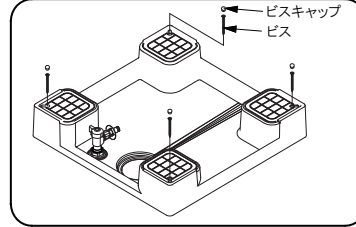
⚠ ストップカプラーはガタつきのないように必ずしっかりと締付けて下さい。(締付トルクは1~2N・mが目安です。)

⊘ ノンアスベストパッキンを使用してはいけません。漏水の原因となります。

⚠ ストップカプラーの上記網掛け部は給水ホースとのシール部です。キズが付かないように注意して下さい。

## 5. 取付方法(つづき)

### 5-6. 洗濯機用防水パンを固定します。



- ①洗濯機用防水パンの四隅を付属のビスで固定し、ビスキャップを取付けます。

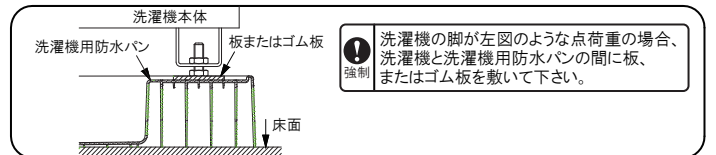
## 6. 取付後の確認

- ①洗濯機用給水ホースを取付けてからバルブのハンドルを開き、各部に漏水がないか確認します。漏水する場合はその箇所を施工しなおして下さい。
- ②排水トラップ取付部、排水管接続部からの漏水がないか水を張って確認して下さい。
- ③洗濯機用防水パンの取付けにガタつきがないか確認して下さい。

## 7. 使用方法

### ●洗濯機を設置する前に

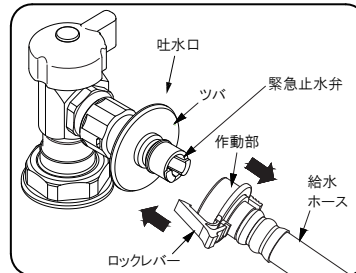
- 洗濯機用防水パンのサイズと排水位置を確認後、洗濯機を購入・設置して下さい。
- 洗濯機設置の際は、洗濯機の排水ホースを洗濯機用防水パン内に納めて下さい。洗濯機用防水パンから排水ホースがはみ出したり、排水ホースが外れて漏水の原因となります。
- 洗濯機用の排水ホースは、排水トラップのエルボに差し込み、排水トラップに付属のホースバンドで確実に締付けて下さい。取付けに不備があると排水ホースが外れて排水の際に水があふれて漏水の原因となります。



⚠ 洗濯機の脚が左図のような点荷重の場合、洗濯機と洗濯機用防水パンの間に板、またはゴム板を敷いて下さい。

### ●給水ホースの接続方法

- 洗濯機との接続は、本品に付属の給水ホースをご使用下さい。
- ハンドルを止水位置にして、緊急止水弁を指で軽く押し、中に入り込むことを確認して下さい。

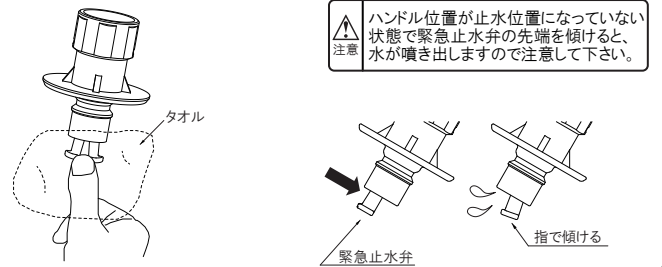


- ①給水ホース作動部を引っ張りながら吐水口に、カチッと音がするまで差込み、ロックレバーを吐水口のツバに引っ掛けて下さい。
- ②接続したらホースを引張って抜けないことを確認して下さい。

⚠ 給水ホースはカチッと音がするまで差し込んで下さい。

### ●給水ホースの再接続

- 通水後、給水ホースを取外した時などに、吐水口内の圧力により緊急止水弁が作動し、再接続しにくい場合があります。この場合は吐水口内の圧力逃しを下記の手順で行って下さい。
- ①ハンドルが止水位置にあることを確認して下さい。
- ②緊急止水弁の先端を指で傾け圧力を逃します。※圧力を逃した際に、配管内の水が出てきますので、タオルなどで押さえて、作業して下さい。※緊急止水弁の向きは下図と異なる場合があります。
- ③圧力逃し後、緊急止水弁を指で押して、吐水口の中へ入り込むことを確認し、給水ホース継手を接続して下さい。



⚠ ハンドル位置が止水位置になっていない状態で緊急止水弁の先端を傾けると、水が噴き出しますので注意して下さい。

## 8. 日ごろのお手入れ

### ●美しく衛生的にご使用いただくために日ごろのお手入れをお願いします。

- 軽い汚れの場合・・・水またはぬるま湯に浸した布をよく絞って汚れをふき取って下さい。
- ひどい汚れの場合・・・適量に薄めた中性洗剤を含ませた布で汚れをふき取ったあと、水洗いし、からがせて下さい。

⚠ 製品をキズつけるものは使用しないで下さい。  
 ・酸性洗剤、アルカリ性洗剤、塩素系漂白剤(製品表面が変色します。)  
 ・シンナー、ベンゼンなどの溶剤(ゴムや樹脂部品が破損するおそれがあります。)  
 ・クレンザー、磨き粉など、粗い粒子を含んだ洗剤ナイロンたわし、たれし、ブラシなど(製品表面にキズがつきます。)

## 9. 定期的な点検のお願い

### ●安全・快適にご使用いただくために、定期的な点検が必要です。

- 定期的にストップカプラー接続部等から漏水がないか点検して下さい。
- 万一、漏水を発見した場合は、元栓を閉めた後、お求めの取付店・販売店に連絡して下さい。